



特定非営利活動法人
富山県防災士会 会報
(NPO 法人日本防災士会・富山県支部)

第24号
令和元年7月1日
発行 富山県防災士会
連絡先 090-9762-8267
(事務局長：佐伯)

特定非営利活動法人富山県防災士会
通常総会開催
～防災減災協働社会の実現にむけて～



小杉理事長

平成31年度の通常総会が4月27日、富山県民会館において開催されました。出席者は参加者74名、委任状提出者98名の計172名です。

はじめに小杉理事長より、地域住民自らが作り上げる地区防災計画の重要性、女性目線の防災の重要性、避難所等での災害関連死を少しでも防ぐための我々の役割など、様々な課題にむけて地域住民と一緒に我々防災士がサポートしていかなければならないと挨拶がありました。



その後、大坪議長の議事進行のもと、各議題の承認をうけ本年度も新しいスタートを切ることになりました。

参加された防災士それぞれが、防災・減災協働社会の実現のため、防災意識啓発活動を継続し、7つの事業計画のもと、行政関係機関や他防災関連団体と積極的に連携を図り協働していく必要性を強く再認識いたしました。

総会後は、顧問である竹内章富山大学名誉教授より、「富山県における現今の地震情勢と防災対策～とくに呉羽山断層と邑知瀉断層帯について～」の学習講演がありました。南海トラフ地震と連動する日本海側の活断層、富山県における呉羽山、砺波平野、邑知瀉断層帯の地震発生のしくみと揺れの周期によって異なる地震被害の説明があり、地表地震断層を境に地盤面が隆起、沈降し、もし大雨や河川氾濫などの増水時と重なった場合の被害想定必要性が提起されました。また、強靱な地域づく



竹内名誉教授

りへのいざないとして、校区や町内で実際に歩いて感じて地域を知る「防災まち歩き」を提案されました。地域住民同士の様々な活動を通してコミュニティを活性化し、「楽しみ」を盛り込みながら取り組んでいくことも、継続的防災、地域力向上に繋がると感じました。

(記 岡本)

第1回スキルアップ研修会を開催

5月12日、サンシップとやまで新年度第1回のスキルアップ研修会が開催されました。新しい顔ぶれの方も多く、59名の参加者で会場は満席でした。

小杉理事長の挨拶の後、佐伯事務局長から地区防災計画の作り方をテーマに講演がありました。作成手順は①住民らと街歩きで危険箇所や避難場所等の「防災マップ」を作る。②ワークショップを開催し、被害想定から減災対策を協議、防災訓練・備蓄等の「計画素案」を作成する。③これを基に避難訓練を実施し、その結果を反映した「計画」を住民で共有する。④市町村防災会議に提案する。等です。



次いで小杉理事長が呉羽の自主防災組織の取り組みについて紹介され、前記に加えて女性の参画や安否確認のしくみ作りの重要性を指摘されました。

また、防災講座では、自分自身が防災対策を実践することや受講者の年齢や性別、防災意識の高低により話の切り口を変えること、終了後は主催者に感謝を伝える等の指導がありました。(記 西島)

会員
自己紹介

防災士 上田 司穂（富山市）

富山市朝菜町におります上田司穂



（うえだしほ）です。「しほ」と名前だけを聞いた方は、およそ男性だとは思われないようですが、れっきとした男性です。本防災士会の中にも、名前だけを見て、「女性かな？」と思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？さて、私が防災士の資格を取ろうと思ったきっかけは、町内の自主防災組織はあったものの、実効性ある活動が無かったからです。多くの町民の方々の思いは、「富山には災害が来んから、心配いらんちゃ」との他町内でも聞かれるものでした。これではダメだと思い、いろいろな町内の良好事例や抱える問題を勉強するために防災講座の担当を引き受けました。いろいろな町内の自主防災組織の取組みを勉強して5年目、そろそろ自町内にも貢献できればと思っています。一人一人の力は微弱でも、富山県防災士会のみなさんの力を合わせた組織力で、富山のみなさんの災害に対する関心を喚起していきましょう。

第2回スキルアップ研修会報告
と第3回研修会のお知らせ

スキルアップ研修会は、富山県防災士会会員にむけて行う主体的な研修講座です。第2回は6月8日サンシップとやまで開催され、58名の参加者で会場は満席でした。今回の研修会では、上田理事を講師として、防災講座の実施方法について、地震、水害などの災害リスクに対応するための基礎知識を最初に盛り込んだ上で、講座内容の希望にあった個別項目（防災対策・避難方法・自主防災活動等）を盛り込んでいくこと。誠実な人柄があれば相手に伝わるので恰好良く話す必要はないこと。また、身なり、場の和み方、話し方の注意点の説明があり、聞き手と話し手のズレについても考えさせる機会になりました。右のようなイラストも入れ、親しみやすさを演出するのも工夫とのことです。講座の締めとして、佐伯副理事長により、限られたメンバーで講座を担当している現状を踏まえ、この研修をきっかけとして積極的に防災講座を担当してほしいとの要請がありました。（記 小林格）



次回、第3回スキルアップ研修は、以下のとおりです。多数のご参加をお待ちしています。

- ・開催日：7月6日（土）13時30分～16時40分
- ・場 所：サンシップとやま 701
- ・内 容：図上訓練DIG「洪水バージョン」の解説他

令和元年度 県市町村総合防災訓練（予定）

富山県	朝日町	9月29日（日）	やまざき紅悠館
	入善町		入善小学校
	黒部市		宇奈月中学校
魚津市	9月29日（日）	旧大町小学校他	
富山市	9月28日（土）	新保地区	
射水市	8月25日（日）	水戸田地区	
高岡市	9月1日（日）	伏木・牧野地区	
氷見市	9月1日（日）	市役所付近	
砺波市	9月1日（日）	林・若林・高波地区	
南砺市	8月25日（日）	城端地区	
小矢部市	9月22日（日）	蟹谷地区	

6月15日時点で富山県防災士会に参加要請のあった自治体です。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

Topics

女性だけで避難所運営ゲーム
をしました！

5月18日、富山広域消防センターで、女性だけで避難所運営ゲームをしました。トイレを女性と男性に分ける、女性の下着を干す場所、落ち着いて授乳する場所の確保や、LGBTの方のトイレの配慮など。高齢者、子ども、女性、障害者に配慮しないといけない避難所には、女性の視点がとっても重要ということがわかりました。



（記 大屋）

地区防災計画を推進しよう

富山県防災士会では、自主防災組織への活動支援を継続し、「地区防災計画」の策定を推進しています。

地区防災計画は、地区居住者により自発的に行われる防災活動に関する計画であり、地区居住者等の意向が強く反映されるボトムアップ型の計画です。計画の作成主体、防災活動の主体、防災活動の対象である地域コミュニティ（地区）の範囲、計画の内容等は地区の特性に応じて、自由に決めることができます。単に計画を作成するだけでなく、計画に基づく防災活動を実践し、その活動が形骸化しないように評価や見直しを行います。多くの地区での計画策定をすすめましょう。（記 島崎）

会員の皆様の活動を日本防災士会富山県支部掲示板（<https://6129.teacup.com/bousaisikai/bbs>）にお寄せ下さい。掲示板には要請のある防災講座のほか、講演会等の情報も掲載されています。